

<b>評定項目(検査員用)</b>	<b>凡例</b>	評価必須項目
		工事により対象となる項目
		該当すれば評価する項目

評定項目	細目	評価対象項目	
2. 施工状況	I. 施工管理	評価必須項目	1 工事関係書類、資料が整理されている。
		評価必須項目	2 施工計画書と現場施工方法が一致している。
		評価必須項目	3 施工計画書と現場の施工体制が一致している。
		評価必須項目	4 施工計画書が契約日より30日以内(工事の着手前まで)に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。
		評価必須項目	5 使用材料、機器の使用及び調達計画、資料の整理及び確認がなされ、管理されている。
		評価必須項目	6 使用材料、機器の品質証明書等または工事記録写真等が適切に整理されている。
		評価必須項目	7 段階確認及びその報告が適時、適確に行われていることが書面で確認できる。
		評価必須項目	8 工事記録の整備が適時、的確になされている。
		評価必須項目	9 社内の管理基準等が作成され管理している。
		評価必須項目	10 社内の管理基準等に基づき社内検査をしている。
	工事により対象となる項目	11 作業分担と責任の範囲が施工体制台帳、施工体系図等で確認できる。	
	工事により対象となる項目	12 建退共制度の主旨を下請け業者に説明し、又適切に配布されているか確認できる。(元請・下請含めて)	
	工事により対象となる項目	13 施工体制台帳、施工体系図が整備され、施工体系図も現場に掲げられ現場と一致している。	
	工事により対象となる項目	14 工事現場と設計図書の不一致や設計図書の不明瞭な部分があった場合は確認を行い施工がなされている。	
	工事により対象となる項目	15 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。	
	工事により対象となる項目	16 建設廃棄物、リサイクルへの取り組みが適切になされている。	
	工事により対象となる項目	17 品質管理体制が確立され、有効に機能している。	
	担当課による 加点評価項目	工事により対象となる項目	18 その他( )
		工事により対象となる項目	19 その他( )
	該当すれば評価する項目	20 設計図書と適合しない箇所があり、文書により請求を行った。	
	該当すれば評価する項目	21 監督員から再三改善指示がされた場合。	
	該当すれば評価する項目	22 現場代理人・技術者が適正な配置がされていない。	
該当項目合計	0	該当項目が90%以上 …………… a 施工管理が優れている	
評価対象項目	0	該当項目が80%以上 90%未満 …… b 施工管理がやや優れている	
評価値		該当項目が60%以上 80%未満 …… c 他の事項に該当しない	
評 定	c	該当項目が60%未満 …………… d 施工管理がやや不備である	
評 点	0	e 施工管理が不備である	
●「20～22」の項目で一つでも該当あればd、二つあればeとする			
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	評価必須項目	1 不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。
		評価必須項目	2 出来形の形状、寸法が設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない。
		評価必須項目	3 出来形表または、出来形図と現地計測との整合性が一致している。
		工事により対象となる項目	4 出来形に関して要求した資料が適切にまとめられており、確認できる。
		工事により対象となる項目	5 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。
		工事により対象となる項目	6 自社の写真管理基準等を設定し、創意工夫を持って適切に管理している。
	担当課による 加点評価項目	工事により対象となる項目	7 その他( )
		工事により対象となる項目	8 その他( )
	該当すれば評価する項目	9 監督員から再三改善指示を行った。	
	該当すれば評価する項目	10 破壊検査を行った。	
	該当項目合計	0	該当項目が90%以上 …………… a 出来形管理が適切であった
	評価対象項目	0	該当項目が80%以上 90%未満 …… b 出来形管理がほぼ適切であった
評価値		該当項目が60%以上80%未満 …… c 他の事項に該当しない	
評 定	c	該当項目が60%未満 …… d 出来形管理がやや不備である	
評 点	0	e 出来形管理が不備である	
●評価対象項目数が4項目以下の場合は該当項目90%以上でもb評価とする。			
●「9」の項目に該当すればd、「10」の項目に該当すればeとする			

評価項目	細目		評価対象項目	
3. 出来形及び 出来ばえ	II.品質	評価必須項目	1 品質管理方法が施工計画書に明確に定められている。	
		評価必須項目	2 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。	
		評価必須項目	3 材料の品質証明が適切である。	
		評価必須項目	4 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。	
		評価必須項目	5 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。	
		評価必須項目	6 不可視部分の写真記録が適切である。	
		担当課による 加点評価項目	工事により対象となる項目	7 その他（ ）
			工事により対象となる項目	8 その他（ ）
			該当すれば評価する項目	9 監督員から再三改善指示を行った。
			該当すれば評価する項目	10 破壊検査を行った。
		該当項目合計	0	該当項目が80%以上 …………… a 品質管理が適切である
		評価対象項目	0	該当項目が60%以上 80%未満 …… b 品質管理がほぼ適切である
		評価値		該当項目が以上60%未満 …… c 他の事項に該当しない
		評 定	c	d 品質管理がやや不備である
		評 点	0	e 品質管理が不備である
	●「9」の項目に該当すればd、「10」の項目に該当すればeとする			
	III.出来栄え		工事により対象となる項目	1 全体に調和がとれている。
			工事により対象となる項目	2 既存部分や関連工事との取り合い部分に配慮がなされ、全体に調和がとれている。
			工事により対象となる項目	3 設計図書に記載されていない部分にも使い勝手等に対する配慮がされている。
			工事により対象となる項目	4 ムラ等がなく又、仕上がりが不均一でない。
工事により対象となる項目			5 クラックやワレ・欠け・凹み等がなく、表面の仕上がりが良好である。	
工事により対象となる項目			6 漏水・水溜りがない。	
工事により対象となる項目			7 清掃がされている。	
工事により対象となる項目			8 通りがよい。	
工事により対象となる項目			9 設置物に使用上問題がない。	
工事により対象となる項目			10 機器等の設置物の取り付け状況が良好である。	
担当課による 加点評価項目		工事により対象となる項目	11 その他（ ）	
		工事により対象となる項目	12 その他（ ）	
		該当すれば評価する項目	13 該当項目がない。	
	該当項目合計	2	該当4項目以上…………… a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い	
	評 定	c	該当3項目…………… b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い	
	評 点	0	該当2項目…………… c 他の事項に該当しない	
			該当項目1以下…………… d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。	
●「13」の項目に該当すればdとする。				